

長畝ふるさと通信

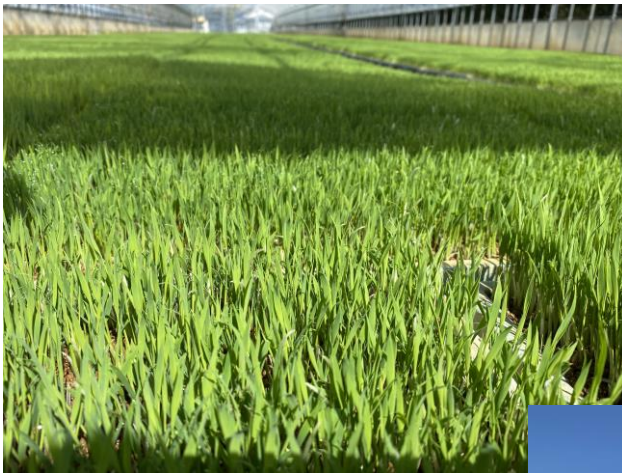


【2020年4月号】

■ 100年経っても・・・

新型コロナウイルスは世界中で260万人も感染し、18万人を超える死者を出しているそうです（4月23日現在）。約100年前に大流行した「スペイン風邪」は当時の世界人口の3割に当たる5億人の感染者を出し、死者は2000万人を超えたそうです。日本でも約45万人が死亡したそうですが、その当時の主な対策も「マスク着用」「患者の隔離」だったそうで・・・結果は感染拡大が限界を迎え、生き残った人々が免疫抗体を獲得しただけだと・・・100年経ってもあまり進歩がないように思います。国を始め各自治体は連日、右往左往しながら対策を講じてくれています。終息の気配さえ感じることができない現状に日本中がストレスをため込んでいますね。佐渡は今のところ一人の感染者も出さず、比較的普通の生活ができています（4月15日のお祭りもこっそりと盛大に執り行ってしまいました）。あたためて「普通の生活」ができる有り難さを噛みしめています。

これまでに経験したことのない「大騒動」と見通しの無さから「不安」ばかりが蔓延していますが、それでも人間は「腹が減る生きもの」です。各国の農業生産が減退し、世界レベルの食糧危機が来ないことを祈るばかりです。しっかりと美味しいごはんを食べて、みんなでこの難局を乗り越えていきましょう。



■ 生産活動は粛々と

県からビニールハウスでの農作業はマスク着用との通達が出ていましたが、そこは気にせず（だってマスク売っていないだから仕方ない・・・）4月6日から通算8回、18,000箱の種まきをしました。

この騒動でコメの消費動向が不安定となりどうなるのか皆目見当がつきませんが、百姓が今やれることは「とにかくいつもと変わらずコメを作る」だけ。種まきした苗は着々と成長しており、5月2日から田植えをする予定です。今年もしっかりとみなさんへ美味しいお米をお届けいたします。

おかわりは自由です。

